

2021年2月25日

# アイセック ISECE ニュースレター

アラスカのサンドレイク小学校で、先月ついに対面授業がスタートしました。Zoomでの授業と並行して、対面授業の準備も進められ学校全体が活気づいてきました。先生方と協力しながら、掲示物の準備や机の配置、授業準備、広い教室での教え方、手洗い・消毒の手順など、生徒の混乱を招かないよう配慮をし、尚且つ安全を確保し万全の体制を整えて生徒登校初日を迎えました。

## ★BIG NEWS★ 対面授業再開！！

### コロナ対策

人と6フィート(約180cm)の距離を確保するために、各学年の教室以外にも一つの教室が与えられ、密集を出来るだけ避けられるようにしています。1年生は広い図書館と教室2つを1クラスと見なしています。児童は1週間同じ教室で過ごし、日本語と英語をスイッチするときは先生が移動します。今までは先生のクラスに子どもたちが移動して授業を受ける流れでしたがシステムがガラリと変わりました。子どもたちの登校から徹底的に6フィートを守られるよう、クラスごとに入り口も分けられています。机にはプラスチックの囲いがあり、飛沫が広がるのを防いでいます。

### 生徒指導

対面授業初日は学校のルールを身に付ける訓練をしました。常時マスク着用の注意・喚起、食事前後の手洗いの習慣、机の消毒、消毒後綺麗に紙で机を自分で拭く、席を立つときは必ず先生に伝えてから動く(お手洗い・ごみ捨てなど)、登校してまず外に並んで時間になったら皆で教室に入って消毒をして順番に席に着く、席に着いてジャケット・スノーパンツ・ブーツなど全て脱いでから番号を呼ばれた順にクローゼットに荷物を置く練習などまだまだ習慣づくまでには時間がかかると思いますが、だんだん順序良くスムーズになっていると思います。

### 2年生は体育館を使用し、距離を確保！



### With コロナでの対面授業の難しさ

個別で支援するときどうしても生徒との距離が近くなってしまいます。PCを使うときや個別指導をするとき、媒体を触ってしまうので、工夫が必要でとても難しいところだなと思います。媒体を触った後は自分の手を一回一回消毒して次の児童の支援をします。持ち運びできる小さい消毒を常に持ち歩いています。

## 日本のお正月文化紹介

書道や年越しそばなど、日本では当たり前のお正月はアラスカの子どもたちにとって新鮮だったようです。初詣を紹介するときに、日本人が神社に行ってお参りをする過程を写真で見せ、「皆も一緒にお参りしてみよう！」と日本人が手を合わせて目を瞑ってお願いしている写真を見せながら指示すること

で、生徒も真似してお参りの擬似体験をすることができました。パワーポイントを使っての日本文化紹介は生徒の反応もよかったそうですよ！



登校初日！  
9時でもまだ暗い！

## 年末年始の過ごし方

クリスマスと比べると、お正月は家族でのんびり過ごした家庭が多かったようです。大晦日はホストファミリーと年越しパーティーや、花火鑑賞を楽しみました。元旦はスケートやアラスカの自然の中で、リラックスした休日を過ごしました。

### アラスカの大自然を満喫！



凍った湖の上を  
ウォーキング！

対面授業が始まり、生徒たちと充実した時間を過ごしている様子が伝わってきました。来月も楽しみです！ 発行者 山中さおり